

令和5年度

定時総会議案書

◇とき 令和5年5月25日(木)

◇ところ 守山市民ホール 小ホール

公益社団法人 守山市シルバー人材センター

令和5年度 安全標語

※【最優秀賞】

「 気を抜くな 少しの油断が事故を呼ぶ

今日も皆んなで安全作業 」

岩井良清 (中洲班)

☆【優秀賞】

「 危ないぞ!! 注意する人 受ける人

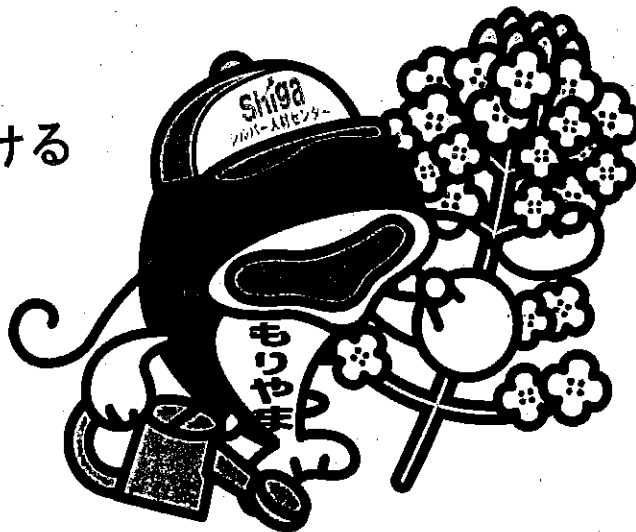
笑顔で答えて 安全作業 」

岩田正彦 (玉津班)

「 小さなヒヤリは事故のもと 見直す心で摘み取る危険 」

小田ゆかり (守山班)

笑顔をとどける



令和5年度 定時総会次第

第Ⅰ部 定時総会

- 1 開 会
- 2 理 事 長 挨 拶
- 3 来 賓 祝 辞
- 4 表 彰 表彰要綱に定める被表彰者表彰
- 5 議 長 選 出
- 6 議事録署名人選出
- 7 定 足 数 の 確 認

- 8 議 事
 - 議 第 1 号 令和4年度事業報告について
 - 議 第 2 号 令和4年度収支決算について
監 査 報 告
 - 議 第 3 号 公益社団法人守山市シルバー人材センター定款の一部変更について
 - 議 第 4 号 役員を選任について
- 9 報 告
 - 報告第1号 令和4年度補正予算について
 - 報告第2号 令和5年度事業計画について
 - 報告第3号 令和5年度収支予算について
 - 報告第4号 令和5年度における主な制度改正等について
- 10 議 長 退 任
- 11 安全標語入選者表彰
- 12 安全宣言
- 13 副 理 事 長 挨 拶
- 14 閉 会

第Ⅱ部 会員研修会

- 演題 「県内シルバー人材センターの事故事例について」
講師 02総合保険サービス 代表 那須達也氏

目 次

令和4年度事業報告について(議第1号)	
1 概 況	2
2 会員の現況	7
3 事業活動概要	8
4 事業実績	14
令和4年度収支決算について(議第2号)	
1 正味財産増減計算書	16
2 正味財産増減計算書内訳書	18
3 貸借対照表	20
4 財産目録	21
5 財務諸表に対する注記	22
監査報告書	23
公益社団法人守山市シルバー人材センター定款の一部変更について (議第3号)	24
役員を選任について(議第4号)	26
令和4年度補正予算について(報告第1号)	28
令和5年度事業計画について(報告第2号)	31
令和5年度収支予算について(報告第3号)	35
令和5年度における主な制度改正等について(報告第4号)	38
令和5年度被表彰者一覧	39
安全宣言	40

議第1号

令和4年度事業報告について

上記の議案を提出する。

令和5年5月25日

公益社団法人 守山市シルバー人材センター
理事長 山中 憲 造

令和4年度

〔 事業報告 〕

1 概 況

2 会員の現況

3 事業活動概要

4 事業実績

1 概 況

新型コロナウイルス感染症の対策については、諸外国において社会・経済活動の正常化の動きが進んだことなどを踏まえ、ウイルスの特性の変化やワクチン接種の進捗に応じて、感染者処置および行動制限や経済活動の制限の見直しが行われました。

新型コロナウイルス対策は、新たな段階に移行しつつあり、新型コロナウイルス感染症が確認されてから3年間続いたマスク着用については、令和5年3月13日以降は混雑時や医療機関等を除き個人の自主判断によるものと委ねられ、感染症法上の分類も令和5年5月8日から2類相当から5類への引き下げが決定されました。

このような状況の中、センター会員の発症者については、幸いにも重症化された方はなく、就業先にも大きな影響を与えることなく業務を行うことが出来ました。

まず本年度の契約実績については、びわこ地球市民の森緑地管理業務やもりやまエコパークグラウンドゴルフ場等管理業務の大型契約の受注もあり大幅に増加し、過去最高額となりました。

一方会員数については、一定の入会者は確保出来たものの、ウイズコロナ下での求人の回復に伴い、新たに別の職に就く60代の会員や高齢会員の退会者により、結果的に前年度末から増減なしという結果になりました。こうした中でも、これまで取り組みを進めてきた女性会員数が減少から増加に転じ、200人台を回復したことは一つの成果です。

事務所移転につきましては、事務所移転プロジェクトチーム会議を再開し、すこやかセンターへの移転について協議を進めてきました。守山市庁舎の竣工後すこやかセンターの改修が行われる予定で、事前調査で大規模な改修が必要と確認されており、移転時期は予定より遅れるとの報告を受けています。

すこやかセンターには、事務拠点を置き、現小津事務所において作業スペースや倉庫は継続する方向で協議を進めています。事務所管理上は1カ所に集約されている方が効率的ではありますが、市内全域の会員の利便性(交通手段)や高齢者・福祉関係団体との連携を考えると事務拠点はすこやかセンターで確保し、作業スペースや倉庫等の確保が可能な現小津事務所とを併せて活用すると判断しました。

次に、安全成績については、保険適用分で、損害賠償責任事故は2件(昨年度4件)、傷害事故は3件(昨年度は3件)と昨年と変動がないように見えますが、保険適用外で損害賠償責任事故が4件、傷害事故は6件発生しています。

昨年度末に県内で剪定作業中の転落死亡事故が発生しているなか、本年度6月と9月に当センターにおいて2件の転落事故発生し、剪定各班の班長に安全対策の徹底を行いました。派遣業務においても工場内の作業中に労災事故が2日続けて発生した案件もあり、派遣先とともに改めて安全確認を行ったところです。事故が多発していることから、会員全員が一層安全意識を高めていくことが必要です。

最後に安定した事務局体制を目指して、次年度に向け近隣のセンターや市内の類似団体への調査を行い、職員就業規則や給与規程等の改正に取り組みました。財源確保を進めるなか、執行体制の強化を図ります。

以上が令和4年度の事業概要ですが、主要事項については、次のとおりです。

(1) 就業機会の拡大

契約額は、350,532千円と中期計画の目標数値332,000千円を18,532千円上回りました。昨年度比で約35,000千円余増額し、過去最高額となりました。

特に請負業務において、びわこ地球市民の森緑地管理業務やもりやまエコパークグラウンドゴルフ場等管理業業務の大型契約の受注により大幅に増加しました。

こうした受注増により、請負・派遣を含めた総事業実績においては、就業実人員、就業延人員とも増加し、就業率も3.3%増加し中期計画目標値である90%以上を確保しました。

公共、民間からのシルバー人材センターへの継続した発注は、会員の皆様による誠実な就労による成果と判断しています。

請負においては、公園管理、除草、剪定業務等分野で受注依頼に対応できる会員の高齢化等による減少が進んでおり、今後、機械化を進められる分野においては、積極的に導入するとともに、業務の受注組織の再編も視野に入れ、適正な価格において受注できるよう取り組みを進めたいと考えています。

派遣においては、昨年並みの契約実績となりましたが、前年度に比べ埋蔵文化財の発掘補助業務の従事日数の減少などにより就業延べ人員は減少となりました。

① 就業ニーズを把握するため「会員就業希望調査」の実施

② 指定管理者施設「もりやま芦刈園」の管理

ア 入園者数

入園料徴収期間 令和4年6月1日(水)～6月30日(木)

24,230人(前年度23,025人)1,205人増

イ あじさいフェアー 絵画・写真コンテスト 中止

引き続きコロナ禍での開催となりましたが、コロナ前の開催に近い形で開園しました。ただし来園者が密集するフェアー等イベント関係は中止しました。来園者への要望に応えるため観光物産協会へ出店を依頼し、土産品や飲料販売を行いました。本年度も団体による来園は少なく、個人による来園が中心となりました。

③ 高齢者活躍人材育成事業の実施

ア 毎週火曜日に草津ハローワークにて、シニアセミナーの開催

イ 地域ITサポート支援員養成講座を8日間開催

(2) 会員数の拡大

会員数の目標値については、コロナ禍により見直しを行い720人に設定されています。引続き一定数の入会者は確保出来たものの、退会者も多く発生し、令和5年3月末において前年度末比で増減なしの645人となりました。傾向としては、高齢者の体調不良のほか、社会経済状況がコロナ前に近づくに伴い求人が回復し、60代の会員を中心に新たな就職にともなう退会も多くみられました。

また本年度も引続き取組みました「出張おしごと説明会」や「女性限定おしごと説明会」の開催につきましては、入会を高める効果があったことから開催方法などの改善を図る中、取組みを強化し進めます。

特に、退会抑止に向けた対策として、互助会解散後の会員相互のコミュニティ向

上を目指し、総務部会において、会員の意向調査を行い、次年度に向けた対応策の検討をスタートしました

粗入会率（会員数/市内60才以上の人口）については、中期計画目標値3.3%に対し、2.5%（R3県平均2.8%）となりました。

- ① 入会説明会を月2回実施
出張おしごと説明会を2回実施（玉津会館・町家うの家）
- ② 会員募集チラシ活用し「学区民のつどい」等におけるPR活動実施
- ③ ポイントカード会員紹介取組み
- ④ 入会説明会での総務部会員および専門部会員による経験談

(3) 安全就業の徹底

県下統一の就業前後のチェックリストの記入を実施し、安全は全てに優先するという基本方針の下、事故ゼロを目指しました。保険対象となるもので、3件の傷害事故、2件の損害賠償責任事故が発生しました。保険対象外では、傷害事故は、6件、損害賠償責任事故は4件発生と増加しています。

常に、会員自らの健康管理と事故を起こさないという意識の徹底が必要です。

- ① 安全委員会による安全パトロールの実施（6回）
- ② 安全標語の募集と優秀作掲揚、総会時に全員で唱和
- ③ 肩掛け式草刈機の安全講習会の開催（3回）
- ④ 剪定班安全講習会の開催（2回）
- ⑤ 安全委員会だよりの発行（3回）
- ⑥ 救命講習会への参加（コロナ禍により中止）

(4) 普及啓発活動の推進

センター事業の意義を広く市民に周知し、センターの活動を知っていただくため、普及啓発に取り組みました。本年度は、コロナ禍により中止されたイベントも徐々に開催され、10月は、びわこ地球市民の森のつどい、学区民のつどい、シルバークエストイバル in 大津と各週啓発に取り組みました。

また、10月は全国一斉「シルバー人材センター事業普及啓発月間」として位置づけられており、10月12日に一斉清掃を奉仕活動として実施し、194名が参加しました。その活動が広報もりやまや等で紹介されました。

広報部会では、シルバーの活動内容を市民の皆様へ分かり易く伝え、入会にも繋がる紙面づくりに取り組み、発行後に広報誌を見て「おしごと説明会」に参加された方が多数おられました。

多くの反響があったものとして、12月に滋賀県の男性平均寿命が男性全国1位、女性全国2位となり、全国トップクラスの長寿県と発表されたことに伴い、NHK大津放送局から当センターへ取材申し込みがあり、長寿の一因として生き活きと働く高齢者の姿として営繕班の作業状況とコメントが放映され、多くの方が視聴され大きなPR効果がありました。

- ① ホームページの充実（会員のひろば掲載、センター情報、就業情報等）

- ② 広報誌の充実（「よろこび」の新聞折り込み、「会員のひろば」の発行）
- ③ 作業時に「のぼり旗」の掲揚
- ④ 各学区民のつどいでのPRと入会案内
- ⑤ 芦刈園の開花状況、第1なぎさ公園の菜の花の開花状況を周知

(5) 適正就業の推進

会員就業基準に基づき、公平公正な就業を図るため、会員就業希望調査を実施し、長期就業者（5年）の是正に努めました。しかし、全体の回答率は68%となっており、最も低い地域班では50%となっています。次年度の調査実施に向けては、これまでの調査の実態についてしっかりと検証したうえで、今後の方針を決定していきます。

また地域班長へ仕事内容についての調査を行い、業務の改善策や後継者育成における課題抽出を行いました。次年度において業務部会の場で改善策を検討し実施していきます。

- ① ワークシェアリング、ローテーション就業の推進
- ② 未就業者を主とする就業機会の提供
- ③ 会員の就業状況の把握と公平な就業機会の確保

(6) 就業能力の向上

会員に必要となる専門的知識・技能・技術の習得はもちろん、サービスを提供する事業者の一員であることを認識してもらうため、各種講習会を開催しました。

特に、高齢者のデジタル対応に向け、令和4年高齢者活躍人材確保育成事業により、地域ITサポート支援員養成講座を実施しました。

- ① 技術の向上と知識の取得を図るため、定期的な技能・技術講習会の実施（機械刈、剪定講習会や襖・障子・網戸張替え講習会等）
- ② 地域ITサポート支援員養成講座（全8回）を実施

(7) 運営体制の充実・強化

会員主体の自主・自立の運営をめざし、各専門部会等で活発な活動を行うとともに、様々なニーズに応え、センターを円滑に機能させるべく、事務局の強化と、財源確保に向け取り組みました。

事務局体制としては、職員の退職対応として2名の嘱託職員採用および派遣職員による事務委託を行いました。

次年度10月のインボイス制度の導入に向け、本年度は新規職員の増員を見送り、派遣職員の対応により業務を執行するなか、現在の職員の待遇について、近隣のセンター職員や市内の類似団体における職員の状況調査を行い、職員の就業規則、給与規程を全部改正し、次年度から職務に対するモチベーションの維持に努めました。

① 専門部会等での主な活動

ア 総務部会 10回

会員数の拡大、要綱の改正、理事会提出案件について他

イ 広報部会 12回

- 機関誌「会員のひろば(第8号)」および「よろこび(第45号)」の発行他
- ウ 業務部会 5回
中期計画に基づく、地域班および職群班の活動状況の把握、共通認識の形成
他
- エ 事業開拓部会 2回
あじさいプロジェクトチーム、既存の独自事業の活動状況、就業開拓の活動
状況、芦刈園の活用他
- オ 女性部会 4回
ヘチマ栽培、いきいきサロン、女性会員拡大について他

(8) 地域社会への貢献

就業やボランティア活動を通して、市民に評価されるシルバーを目標に、地域社会の福祉と活性化に貢献し、地域から必要とされるシルバーを目指して取り組みました。「シルバー環境美化の日(10月12日)」奉仕活動の実施
地域班ごとに学区の公共施設などの除草、清掃作業等を実施(194名参加)
玉津班は2回ボランティア活動を実施。

- ① 「行方不明高齢者 SOS ネットワーク」の協力事業所として参画

2 会員の現況

(令和5年3月31日現在)

(1) 学区・男女別構成

	男性	女性	計
守山	100	52	152
吉身	89	25	114
小津	38	33	71
玉津	53	18	71
河西	76	29	105
速野	62	33	95
中洲	22	15	37
合計	440	205	645

(2) 年齢別・男女別構成

	64歳以下	65～69	70～74	75～79	80以上	合計
男性	5	56	165	129	85	440
女性	3	29	83	62	28	205
合計	8	85	248	191	113	645
割合	1.2%	13.2%	38.4%	29.6%	17.5%	

(3) 平均年齢・最高年齢

	男性	女性	全体
平均年齢(才)	75.2	74.6	74.9
最高年齢(才)	94	89	

(4) 年度別入会者在籍数(人)

	s63	H1	～7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	計
男性	0	1	0	1	1	1	2	4	3	5	7	7	4	9	11	17	17	21	28	20	21	32	27	32	38	22	25	37	47	440	
女性	0	1	0	0	1	1	1	0	2	2	4	2	7	2	5	6	7	9	12	8	11	11	8	10	11	15	13	23	33	205	
合計	0	2	0	1	2	2	3	4	5	7	11	9	11	11	16	23	24	30	40	28	32	43	35	42	49	37	38	60	80	645	

(5) 入会者・退会者推移(年間)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	2019年度	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	723	695	696	700	705	706	698	654	645	645
内訳	男	471	454	461	472	487	496	490	460	440
	女	252	241	235	228	218	210	208	194	205
入会者	99	86	98	77	79	88	67	55	78	82
退会者	77	114	97	73	74	87	75	99	87	82

3 事業活動概要

令和4年度事業計画に基づき、次の事業（行事）を実施しました。

(1) 令和4年度 定時総会

- ① 日 時 令和4年5月26日(木) 午後1時開会
- ② 場 所 守山市民ホール小ホール
- ③ 出席者 472名 (うち委任状出席者332名)
- ④ 審議事項
 - ア 令和3年度事業報告および収支決算について
 - イ 補欠役員の選任について
 - ウ 事務費規程の一部改正

(2) 理事会

第1回	令和4年4月28日	令和3年度事業報告、収支決算および令和4年度定時総会の開催日程について他
第2回	5月9日	令和3年度収支決算の修正について
研修会	6月3日	びわこ地球市民の森緑地管理業務の成果と課題
第3回	6月3日	みなし決議 役員賠償責任保険の加入について
第4回	6月29日	令和4年度会計補正(第2号) 予算(案)
第5回	10月6日	令和4年度会計補正(第3号) 予算(案)
第6回	12月5日	役員候補者選考基準の策定について
第7回	令和5年3月29日	令和4年度会計補正(第4号) 予算(案)、令和5年度事業計画(案) 会計予算(案) 他

(3) 部会長会

第1回	令和4年4月19日	第7回	10月25日
第2回	5月24日	第8回	11月22日
第3回	6月28日	第9回	令和5年1月24日
第4回	7月26日	第10回	2月28日
第5回	8月23日	第11回	3月22日
第6回	9月27日		

事務所移転プロジェクト・チーム会議

第1回	令和4年7月26日	第3回	9月27日
第2回	8月23日		

(4) 監査等

令和4年5月9日	会計・事業執行状況等監査 南井監事 三品監事
----------	---------------------------

令和4年10月27日	組織および事業活動状況の立入検査 滋賀県公益認定委員会(県総務課)
------------	--------------------------------------

令和5年2月16日	指定管理者監査(もりやま芦刈園) 馬場監査委員 新野監査委員
-----------	-----------------------------------

(5) 安全委員会等

第1回	令和4年6月13日
第2回	11月28日
第3回	令和5年2月17日

地区安全対策員会議

第1回	令和4年6月13日
-----	-----------

【安全パトロール】

6月30日	5月18日	剪定班安全講習会
7月29日	7月26日	機械刈安全講習会
8月29日	8月24日	剪定班技術講習会
9月28日	11月22日	機械刈安全講習会
11月4日	12月5日	トリマー安全講習会
12月12日	3月20日	機械刈安全講習会(書面)

【安全講習会】

安全・適正就業推進会議

[安全]第1回	令和4年6月27日	[安全]第2回	11月24日
安全パトロール(近江八幡)	7月20日	[安全・適正就業]第2回	令和5年2月13日
[安全・適正就業]第1回	9月9日		

(6) 総務部会

第1回	令和3年4月12日	第1回理事会議案、令和4年度総務部会事業方針について他
第2回	5月15日	令和4年度定時総会議案書
第3回	6月21日	第3回理事会議案
第4回	7月19日	インボイス制度について
第5回	9月20日	第5回理事会議案 要望書提出について
第6回	10月18日	第6回理事会議案、会員拡大の取組み、会員活動事業の検討
第7回	11月15日	中期計画(中間報告)、規則改正、会員活動事業の検討
第8回	令和5年1月17日	就業希望アンケート(総務部会分) 取りまとめ
第9回	2月21日	令和5年度事業計画(案)
第10回	3月24日	中期計画の報告および新年度(案) 第7回理事会議案

(7) 広報部会

第1回	令和4年4月8日	今年度の取組みについて他
第2回	5月12日	広報誌「会員のひろば」第8号発行について他
第3回	5月27日	広報誌「会員のひろば」第8号発行について他
第4回	6月9日	広報誌「会員のひろば」第8号発行について他
第5回	6月23日	広報誌「会員のひろば」第8号発行について他
第6回	7月14日	広報誌「会員のひろば」第8号発行について他
第7回	10月6日	広報誌「よろこび」第45号発行について他
第8回	10月20日	広報誌「よろこび」第45号発行について他
第9回	11月10日	広報誌「よろこび」第45号発行について他
第10回	11月24日	広報誌「よろこび」第45号発行について他
第11回	12月8日	広報誌「よろこび」第45号発行について他
第12回	12月15日	広報誌「よろこび」第45号発行について他

(8) 業務部会

第1回(地域班)	4月6日	令和4年度上半期活動計画について他
第1回(職群班)	4月7日	令和4年度上半期活動計画について他
書面報告(地域・職群班)	7月25日	令和4年度上半期経過報告について

第3回(地域班)	10月17日	地域班担当: 下半期活動計画他
第3回(職群班)	10月17日	職群班担当: 下半期中間報告他
第4回(地域班)	令和5年1月23日	地域班担当: 下半期中間報告
第4回(職群班)	1月17日	職群班担当: 下半期中間報告 大雪のため中止(書面)
第5回(地域班)	3月20日	地域班担当: 事業計画(総括)
第5回(職群班)	3月22日	職群班担当: 事業計画(総括)

(9) 事業開拓部会

第1回(合同)	令和4年5月19日	就業先の開拓・拡大、芦刈園について他
就業開拓訪問	9月13日	守山市役所 保育幼稚園課 総務課
就業開拓訪問	10月20日	守山市社会福祉協議会
第2回	11月2日	就業希望アンケート 事業報告

(10) 女性部会

第1回	令和4年4月27日	今年度の取組みについて、定時総会での健康教室他
第2回	6月22日	いきいきサロンの開催について
いきいきサロン	7月20日	浴衣着付け講習会
第3回	11月2日	10月開催イベントの成果、いきいきサロン
いきいきサロン	12月7日	クリスマス飾りを作ろう
第4回	令和5年2月1日	おしごと説明会、へちまたわし、今年度の反省点

(11) 地域班・職群班会議

地域班

令和4年4月3日	小津班役員会議	12月8日	守山班役員会議
4月16日	玉津班役員会議	12月18日	玉津班役員会議
4月20日	守山班役員会議	令和5年1月15日	速野班役員会議
5月1日	小津班班会議(書面)	1月15日	小津班役員会議
5月25日	地域班長会議	1月22日	玉津班役員会議
7月29日	吉身班役員会議	1月24日	吉身班役員会議
8月18日	守山班役員会議	1月26日	守山班全体会議
8月27日	玉津班役員会議	2月16日	吉身班役員会議
10月3日	中洲班役員会議	2月16日	河西班役員会議
10月24日	吉身班役員会議	2月19日	玉津班総会
12月6日	吉身班役員会議	3月7日	吉身班全体会議
12月7日	吉身班全体会議	3月14日	中洲班全体会議
		3月16日	守山班役員会議

職群班

令和4年4月5日	営繕班全体会議	11月12日	宿直班会議
4月13日	剪定班役員会議	11月16日	剪定班役員会議
4月21日	地域巡回パトロール班吉身班	12月6日	営繕班全体会議
4月27日	宿直班会議	12月19日	地域巡回パトロール班代表者会議
5月12日	剪定班役員会議	12月20日	宿直班会議

5月24日	剪定班合同総会	12月27日	機械刈班長会議
5月24日	機械刈班長会議	令和5年1月11日	剪定班1班会議
6月22日	剪定班役員会議	1月18日	剪定班役員会議
6月27日	地区会館管理班役員会議	1月20日	地区会館管理班役員会議
6月27日	剪定班役員緊急会議	1月30日	宿直班会議
7月7日	機械刈班長会議	2月8日	営繕班全体会議
7月13日	剪定班役員会議	2月12日	機械刈班玉津班会議
9月14日	剪定班役員会議	2月14日	地域巡回パトロール班吉身班
9月26日	剪定班役員緊急会議	2月15日	剪定班役員会議
9月28日	宿直班会議	2月17日	機械刈班守山班会議
9月30日	地区会館管理班役員会議	2月21日	機械刈班新旧合同会議
9月30日	機械刈班長会議	3月6日	地域巡回パトロール班代表者会議
10月18日	営繕班全体会議	3月14日	剪定班役員会議
10月19日	剪定班役員会議	3月23日	地区会館管理班全体会議

(12) あじさいプロジェクトチーム会議

第1回	令和4年5月11日	令和4年度開催に向けての課題整理
-----	-----------	------------------

(13) みらいもりやま21ピオトーブ協議会・地球市民の森従事者全体会議

第13回	令和4年4月13日	第17回	9月21日
第14回	5月18日	第18回	11月16日
第15回	6月15日	第19回	令和5年1月18日
第16回	7月20日	第20回	3月15日

従事者全体会議	12月13日	冬季作業・今年度総括・次年度に向けての課題
---------	--------	-----------------------

(14) 表彰選考委員会

第1回	令和4年4月12日	定時総会における被表彰者の選考について
-----	-----------	---------------------

(15) 役員選考委員会

第1回	令和4年4月12日	理事の補充について
第2回	12月14日	令和5年度改選の役員候補者選考基準について
第3回	令和5年2月6日	令和5年度改選の役員候補者推薦者名簿について

(16) 入会説明会(おしごと説明会)

令和4年4月8日	シルバーワークプラザ	10月20日	シルバーワークプラザ
4月20日	シルバーワークプラザ	11月10日	シルバーワークプラザ
5月10日	シルバーワークプラザ	11月21日	シルバーワークプラザ
5月20日	シルバーワークプラザ	12月9日	シルバーワークプラザ
6月10日	シルバーワークプラザ	12月20日	シルバーワークプラザ
6月20日	シルバーワークプラザ	令和5年1月10日	シルバーワークプラザ
7月8日	シルバーワークプラザ	1月20日	シルバーワークプラザ

7月20日	シルバーワークプラザ	2月10日	シルバーワークプラザ
8月10日	シルバーワークプラザ	2月15日	町家うの家
8月22日	シルバーワークプラザ	2月20日	シルバーワークプラザ
9月9日	シルバーワークプラザ	2月23日	玉津会館
9月20日	シルバーワークプラザ	3月10日	シルバーワークプラザ
10月7日	シルバーワークプラザ	3月20日	シルバーワークプラザ

(17) その他参加した行事・研修・会議等

令和4年4月27日	新任職員調査研究会	県連合会
4月29日	もりやまエコパーク遊びの広場等開所式	オンライン
4月28日	新任職員調査研究会	守山市内
5月10日	市長要望（事務所移転等）	守山市役所
5月12日	守山市企業内人権教育推進協議会総会	守山市内
5月19日	シルバーフェスティバル事業検討委員会	県連合会
6月7日	滋賀銀行守山支店（書道教室）展示	滋賀銀行
6月8日	商業系三部会合同総会（守山商工会議所）	守山市内
6月10日	第1回市町シルバー人材センター事務局長会議	オンライン
6月15日	県連合会定時総会	草津市内
6月21日	近畿シルバー人材センター連絡協議会定期総会（委任状）	和歌山市内
6月23日	全国シルバー人材センター事業協会定時総会（書面決議）	東京都内
6月30日	企業内人権問題初任者研修会	守山市内
8月15日	会員拡大・就業開拓担当者会議	動画配信
8月18日	NRI社会情報システム ユーザー研修会	オンライン
8月25日	事業所内人権教育公正採用研修会	オンライン
9月1日	安全運転管理者講習会	守山市内
9月12日	シルバーフェスティバル事業検討委員会	オンライン
9月27日	派遣元責任者講習	大阪市内
10月2日	びわこ地球市民の森のつどい	守山市内
10月5日	市長要望（次年度予算等）	守山市役所
10月9日	各学区民のつどいブース参加～23日	守山市内
10月12日	シルバー環境美化の日（奉仕活動）194名参加	守山市内
10月13日	第2回市町シルバー人材センター事務局長会議	オンライン
10月14日	公正採用・人権啓発研修会	オンライン
10月20日	シルバー事業総合検討委員会作業部会	県連合会
10月29日	シルバーフェスティバルIN大津	大津市内
11月1日	滋賀銀行守山支店（クラフト手芸）展示	滋賀銀行
11月29日	湖南ブロック連絡協議会	野洲市SC
令和5年1月4日	新春年賀交歓会	守山市内
1月13日	安全指導員会議	動画配信
1月26日	第3回市町シルバー人材センター事務局長会議・シルバー事業総合検討委員会	オンライン
2月20日	会計職員調査研究会	草津市内
2月27日	シルバー事業総合検討委員会作業部会	県連合会

3月3日	シルバー事業情報交換会議	動画配信
3月28日	湖南ブロック連絡協議会	野洲市SC

(17) 高齢者活躍人材育成事業・講習会他

毎週火曜日	シニアセミナー開催 草津ハローワークにて 44回開催		
令和4年6月15日	網戸張替え講習会	9月7日	網戸張替え講習会
6月22日	障子張替え講習会	9月14日	障子張替え講習会
7月6日	襖の張替え講習会	10月5日	襖張替え講習会
令和4年9月21日～10月12日（全8回／8日間）		地域ITサポート支援員養成講座	
令和4年11月7日	DIY技能講習（網戸・障子の張替え）町家うの家にて		

(18) 教室等

令和4年 4月1日 ～ 6月24日	パソコン金曜日コース（初級）12回		
7月1日 ～ 9月30日	パソコン金曜日コース（応用）12回		
10月7日 ～ 12月23日	パソコン金曜日コース（初級）12回		
令和5年1月13日 ～ 3月31日	パソコン金曜日コース（応用）12回		
令和4年4月5日 ～ 6月28日	パソコン火曜日コース（初級）12回		
7月5日 ～ 9月27日	パソコン火曜日コース（初級）12回		
10月4日 ～ 12月20日	パソコン火曜日コース（初級）12回		
毎週火曜日	書道教室(31回)	毎週水曜日	クラフト手芸教室(43回)

4 事業実績

	令和4年度		令和3年度		対前年比
	645名		645名		増減なし
	会員数 (3月31日)	男 440 名	68.2%	男 447 名	69.3%
	女 205 名	31.8%	女 198 名	30.7%	7名増

請負・委任事業実績

契約件数	1,949 件		1,972 件		23件減
就業実人員	515 人		502 人		13人増
就業延人員	51,244 人日		48,888 人日		2,356人日増
就業率	79.8 %		77.8 %		2.0%増
契約金額 (A)	271,042 千円	100.0%	237,497 千円	100.0%	33,545千円増
(1) 内訳					
配分金 (B)	221,921 千円	81.9%	202,400 千円	85.8%	19,521千円増
事務費	22,564 千円	8.3%	19,484 千円	8.2%	3,080千円増
材料費	26,557 千円	9.8%	15,613 千円	6.6%	10,944千円増
(2) 公民別					
公共 (指定管理・独自含)	112,793 千円	41.6%	100,505 千円	42.3%	12,288千円増
民間 (一般企業等)	103,760 千円	38.3%	83,342 千円	35.1%	20,418千円増
民間 (個人・家庭等)	54,489 千円	20.1%	53,650 千円	22.6%	839千円増
(3) 職群別					
技術群 (教室・講座等)	847 千円	0.3%	890 千円	0.4%	43千円減
技能群 (剪定・営繕等)	41,656 千円	15.4%	40,726 千円	17.1%	930千円増
事務群 (筆耕・調査等)	1,011 千円	0.4%	1,046 千円	0.4%	35千円減
管理群 (建物管理等)	81,785 千円	30.2%	56,947 千円	24.0%	24,838千円増
折衝外交群(販売・配達等)	2,064 千円	0.8%	2,058 千円	0.9%	6千円増
一般作業群(除草・清掃等)	139,782 千円	51.6%	132,201 千円	57.0%	7,581千円増
サービス群(家事・介護等)	3,897 千円	1.4%	3,629 千円	1.5%	268千円増

シルバー人材派遣事業実績

契約金額 (C)	79,490 千円	77,804 千円	1,686千円増
賃金 (D)	62,547 千円	60,901 千円	1,646千円増
就業実人員	175 人	175 人	増減なし
就業延人員	14,332 人日	14,469 人日	137人日減

総事業実績

契約金額 (A) + (C)	350,532 千円	315,301 千円	35,231千円増
配分金+賃金(B) + (D)	284,468 千円	263,301 千円	21,167千円増
就業実人員	585 人	564 人	21人増
就業延人員	65,576 人日	63,357 人日	2,219人日増
就業率 (R3県平均78.9%)	90.7 %	87.4 %	3.3%増

議第2号

令和4年度収支決算について

上記の議案を提出する。

令和5年5月25日

公益社団法人 守山市シルバー人材センター
理事長 山中 憲 造

令和5年度

〔 収 支 決 算 報 告 〕

- 1 正味財産増減計算書
- 2 正味財産増減計算書内訳書
- 3 貸 借 対 照 表
- 4 財 産 目 録
- 5 財務諸表に対する注記

1 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	275,236,334	241,766,290	33,470,044
受取配分金	216,379,357	196,812,451	19,566,906
受取材料費等	26,556,391	15,613,391	10,943,000
受取事務費	22,563,845	19,483,498	3,080,347
指定管理料収入	5,841,000	6,114,052	△ 273,052
施設利用料収入	3,844,650	3,724,900	119,750
あじさいフェア開催収入	51,091	17,998	33,093
その他収入	0	0	0
労働者派遣事業等受託収益	6,084,353	6,324,381	△ 240,028
労働者派遣事業等受託収益	6,084,353	6,324,381	△ 240,028
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,234,180	1,350,825	△ 116,645
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,234,180	1,350,825	△ 116,645
受取会費	1,497,400	1,490,800	6,600
正会員受取会費	1,497,400	1,490,800	6,600
受取補助金等	28,120,000	28,120,000	0
受取連合交付金	14,060,000	14,060,000	0
受取(市)補助金	14,060,000	14,060,000	0
受取連合助成金	0	0	0
受取負担金	5,190	1,478,070	△ 1,472,880
受取負担金	5,190	1,478,070	△ 1,472,880
特定資産運用益	84	85	△ 1
特定資産受取利息	84	85	△ 1
雑収益	11,652	9,240	2,412
受取利息	292	240	52
雑収益	11,360	9,000	2,360
他会計からの繰入金収益	0	0	0
公益会計からの繰入金収益	0	0	0
法人会計からの繰入金収益	0	0	0
経常収益計	312,189,193	280,539,691	31,649,502
(2) 経常費用			
事業費	304,161,299	277,001,758	27,159,541
支払配分金	221,921,334	202,400,148	19,521,186
支払材料費等	23,046,235	16,217,776	6,828,459
役員報酬	259,500	294,000	△ 34,500
給料手当	24,725,187	24,425,575	299,612
臨時雇賃金	1,311,300	1,326,700	△ 15,400
法定福利費	4,088,409	3,897,034	191,375
退職給付費用	1,296,066	1,209,391	86,675
福利厚生費	105,982	132,800	△ 26,818
会議費	49,885	89,136	△ 39,251
役員等旅費交通費	67,992	78,694	△ 10,702
旅費交通費	9,808	6,880	2,928
通信運搬費	1,538,788	1,520,195	18,593
通信運搬費	12,038	0	12,038
減価償却費	2,490,736	1,284,242	1,206,494
什器備品費	1,967,838	1,833,348	134,490
消耗品費	799,762	840,017	△ 40,255
修繕費	781,560	958,757	△ 177,197
印刷製本費	1,104,650	1,415,337	△ 310,687
光熱水料費	3,829,470	3,377,906	451,564
賃借料	3,325,763	3,066,167	259,596
保険料	353,726	445,452	△ 91,726
諸謝金	1,017,539	948,882	68,657
租税公課	10,000	10,000	0
支払負担金	650,937	536,838	114,099
組織活動助成費	9,028,089	10,377,517	△ 1,349,428
委託費	78,114	62,900	15,214
研修費	0	0	0
教材費	140,019	108,073	31,946
支払手数料	0	0	0
貸倒損失	0	0	0

1 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
支払利息	150,572	129,223	21,349
雑費	0	8,770	△ 8,770
管理費	3,497,859	2,949,285	548,574
役員報酬	555,500	440,000	115,500
給料手当	769,492	728,417	41,075
法定福利費	127,327	117,434	9,893
退職給付費用	37,062	64,551	△ 27,489
福利厚生費	2,806	1,858	948
会議費	21,686	26,323	△ 4,637
役員等旅費交通費	56,592	39,455	17,137
旅費交通費	0	2,192	△ 2,192
通信運搬費	59,041	70,579	△ 11,538
減価償却費	0	0	0
什器備品費	0	0	0
消耗品費	139,474	83,281	56,193
修繕費	0	0	0
印刷製本費	132,880	137,936	△ 5,056
光熱水料費	70,142	102,861	△ 32,719
賃借料	173,725	241,810	△ 68,085
保険料	56,918	57,048	△ 130
諸謝金	102,000	61,500	40,500
租税公課	59,336	60,168	△ 832
支払負担金	292,900	312,300	△ 19,400
研修費	11,575	0	11,575
委託費	821,212	394,452	426,760
支払手数料	8,191	7,120	1,071
雑費	0	0	0
他会計からの繰出金	0	0	0
公益会計からの繰出金	0	0	0
法人会計からの繰出金	0	0	0
経常費用計	307,659,158	279,951,043	27,708,115
評価損益等調整前当期経常増減額	4,530,035	588,648	3,941,387
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,530,035	588,648	3,941,387
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,530,035	588,648	3,941,387
一般正味財産期首残高	24,011,928	23,423,280	588,648
一般正味財産期末残高	28,541,963	24,011,928	4,530,035
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	28,541,963	24,011,928	4,530,035

2 正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

001 本部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	シルバー人材センター事業	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受託事業収益	272,493,225	0	272,493,225	0	2,743,109		275,236,334
受取配分金	216,379,357	0	216,379,357	0	0		216,379,357
受取材料費等	26,556,391	0	26,556,391	0	0		26,556,391
受取事務費	19,820,736	0	19,820,736	0	2,743,109		22,563,845
指定管理料収入	5,841,000	0	5,841,000	0	0		5,841,000
施設利用料収入	3,844,650	0	3,844,650	0	0		3,844,650
あじさいフェア開催収入	51,091	0	51,091	0	0		51,091
その他収入	0	0	0	0	0		0
労働者派遣事業等受託収益	6,084,353	0	6,084,353	0	0		6,084,353
労働者派遣事業等受託収益	6,084,353	0	6,084,353	0	0		6,084,353
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,234,180	0	1,234,180	0	0		1,234,180
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,234,180	0	1,234,180	0	0		1,234,180
受取会費	748,700	0	748,700	0	748,700		1,497,400
正会員受取会費	748,700	0	748,700	0	748,700		1,497,400
受取補助金等	28,120,000	0	28,120,000	0	0		28,120,000
受取連合交付金	14,060,000	0	14,060,000	0	0		14,060,000
受取(市)補助金	14,060,000	0	14,060,000	0	0		14,060,000
受取連合助成金	0	0	0	0	0		0
受取負担金	0	0	0	0	5,190		5,190
受取負担金	0	0	0	0	5,190		5,190
特定資産運用益	84	0	84	0	0		84
特定資産受取利息	84	0	84	0	0		84
雑収益	10,792	0	10,792	0	860		11,652
受取利息	292	0	292	0	0		292
雑収益	10,500	0	10,500	0	860		11,360
他会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0		0
公益会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0		0
法人会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0		0
経常収益計	308,691,334	0	308,691,334	0	3,497,859		312,189,193
(2) 経常費用							
事業費	304,161,299	0	304,161,299	0	0		304,161,299
支払配分金	221,921,334	0	221,921,334	0	0		221,921,334
支払材料費等	23,046,235	0	23,046,235	0	0		23,046,235
役員報酬	259,500	0	259,500	0	0		259,500
給料手当	24,725,187	0	24,725,187	0	0		24,725,187
臨時雇賃金	1,311,300	0	1,311,300	0	0		1,311,300
法定福利費	4,088,409	0	4,088,409	0	0		4,088,409
退職給付費用	1,296,066	0	1,296,066	0	0		1,296,066
福利厚生費	105,982	0	105,982	0	0		105,982
会議費	49,885	0	49,885	0	0		49,885
役員等旅費交通費	67,992	0	67,992	0	0		67,992
旅費交通費	9,808	0	9,808	0	0		9,808
通信運搬費	1,538,788	0	1,538,788	0	0		1,538,788
減価償却費	12,038	0	12,038	0	0		12,038
什器備品費	2,490,736	0	2,490,736	0	0		2,490,736
消耗品費	1,967,838	0	1,967,838	0	0		1,967,838
修繕費	799,762	0	799,762	0	0		799,762
印刷製本費	781,560	0	781,560	0	0		781,560
光熱水料費	1,104,650	0	1,104,650	0	0		1,104,650
賃借料	3,829,470	0	3,829,470	0	0		3,829,470
保険料	3,325,763	0	3,325,763	0	0		3,325,763
諸謝金	353,726	0	353,726	0	0		353,726
租税公課	1,017,539	0	1,017,539	0	0		1,017,539
支払負担金	10,000	0	10,000	0	0		10,000
組織活動助成費	650,937	0	650,937	0	0		650,937
委託費	9,028,089	0	9,028,089	0	0		9,028,089
研修費	78,114	0	78,114	0	0		78,114
教材費	0	0	0	0	0		0
支払手数料	140,019	0	140,019	0	0		140,019
貸倒損失	0	0	0	0	0		0
支払利息	150,572	0	150,572	0	0		150,572
雑費	0	0	0	0	0		0
管理費	0	0	0	0	3,497,859		3,497,859
役員報酬	0	0	0	0	555,500		555,500
給料手当	0	0	0	0	769,492		769,492
法定福利費	0	0	0	0	127,327		127,327
退職給付費用	0	0	0	0	37,062		37,062
福利厚生費	0	0	0	0	2,806		2,806
会議費	0	0	0	0	21,686		21,686
役員等旅費交通費	0	0	0	0	56,592		56,592
旅費交通費	0	0	0	0	0		0
通信運搬費	0	0	0	0	59,041		59,041
減価償却費	0	0	0	0	0		0
什器備品費	0	0	0	0	0		0
消耗品費	0	0	0	0	139,474		139,474
修繕費	0	0	0	0	0		0
印刷製本費	0	0	0	0	132,880		132,880
光熱水料費	0	0	0	0	70,142		70,142
賃借料	0	0	0	0	173,725		173,725
保険料	0	0	0	0	56,918		56,918
諸謝金	0	0	0	0	102,000		102,000
租税公課	0	0	0	0	59,336		59,336
支払負担金	0	0	0	0	292,900		292,900
研修費	0	0	0	0	11,575		11,575
委託費	0	0	0	0	821,212		821,212

2 正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

001 本部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		小計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	シルバー人材センター事業	共通					
支払手数料	0	0	0	0	8,191		8,191
雑費	0	0	0	0	0		0
他会計からの繰出金	0	0	0	0	0		0
公益会計からの繰出金	0	0	0	0	0		0
法人会計からの繰出金	0	0	0	0	0		0
経常費用計	304,161,299	0	304,161,299	0	3,497,859		307,659,158
評価損益等調整前当期経常増減額	4,530,035	0	4,530,035	0	0		4,530,035
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	4,530,035	0	4,530,035	0	0		4,530,035
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用							
固定資産除却損	0	0	0	0	0		0
車両運搬具除却損	0	0	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	4,530,035	0	4,530,035	0	0		4,530,035
他会計振替額	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	4,530,035	0	4,530,035	0	0		4,530,035
一般正味財産期首残高			23,955,611	0	56,417		24,011,928
一般正味財産期末残高			28,485,646	0	56,417		28,541,963
II 指定正味財産増減の部							
(1) 収益							
収益計	0	0	0	0	0		0
(2) 費用							
費用計	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高			0	0	0		0
指定正味財産期末残高			0	0	0		0
III 正味財産期末残高			28,485,646	0	56,417		28,541,963

3 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

001 本部		(単位：円)		
科目	当年度	前年度	増減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	0	0	0	
普通預金	28,597,526	21,148,065	7,449,461	
未収金	20,585,875	17,686,524	2,899,351	
仮払金	0	0	0	
立替金	△ 80,577	0	△ 80,577	
前払金	12,760	40,502	△ 27,742	
流動資産合計	49,115,584	38,875,091	10,240,493	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計	0	0	0	
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	4,642,543	4,478,185	164,358	
減価償却引当資産	0	0	0	
特定資産合計	4,642,543	4,478,185	164,358	
(3) その他固定資産				
土地	0	0	0	
車輛運搬具	1	1	0	
什器備品	723,428	6	723,422	
電話加入権	217,600	217,600	0	
預託金	9,210	9,210	0	
その他固定資産合計	950,239	226,817	723,422	
固定資産合計	5,592,782	4,705,002	887,780	
資産合計	54,708,366	43,580,093	11,128,273	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	21,177,110	14,866,819	6,310,291	
前受金	0	0	0	
預り金	346,750	223,161	123,589	
仮受金	0	0	0	
短期借入金	0	0	0	
流動負債合計	21,523,860	15,089,980	6,433,880	
2. 固定負債				
退職給付引当金	4,642,543	4,478,185	164,358	
固定負債合計	4,642,543	4,478,185	164,358	
負債合計	26,166,403	19,568,165	6,598,238	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
0	0	0		
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産				
28,541,963	24,011,928	4,530,035		
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(4,642,543)	(4,478,185)	(164,358)	
正味財産合計	28,541,963	24,011,928	4,530,035	
負債及び正味財産合計	54,708,366	43,580,093	11,128,273	

4 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等		金額	
		使用目的等	使用事業		
流動資産					
現金 預金 未収金 立替金 前払金	現金	手元保管	運転資金	シルバー人材センター事業 法人管理	0 0
	預金	普通預金 滋賀銀行守山支店	運転資金	シルバー人材センター事業	25,709,495
		普通預金 滋賀銀行守山支店	指定管理事業	シルバー人材センター事業	2,678,279
		普通預金 滋賀銀行守山支店	補助金管理用	シルバー人材センター事業	0
		普通預金 滋賀銀行守山支店	高齢者活躍人材育成事業管理用	シルバー人材センター事業	0
		普通預金 JAレーク滋賀吉身支店	受託事業用	シルバー人材センター事業 法人管理	8,376 11,451
		普通預金 関西みらい銀行守山支店	受託事業用	シルバー人材センター事業	189,925
		未収金	守山市他200件	受託事業用	シルバー人材センター事業
	滋賀県SJC連合会		派遣受託収益	シルバー人材センター事業	1,435,490
	立替金	滋賀労働局	労働保険料	シルバー人材センター事業	△ 80,577
	前払金	守山市民ホール	総会施設利用料	法人管理	12,760
	流動資産合計				49,115,584
固定資産					
特定資産					
退職給付引当資産	定期預金 JAレーク滋賀吉身支店	職員退職金支払いに 備える	シルバー人材センター事業 法人管理	4,451,089 191,454	
その他の固定資産					
什器備品 車両運搬具 電話加入権 預託金	物置・草刈機・ブライ ド・応接セット・電話機	公益目的と法人管理の共有財 産でありシルバー事業と法人 管理に使用	シルバー人材センター事業 法人管理	723,427 1	
	スズキエブリイ1台	公益目的保有財産でありシル バー事業に使用	シルバー人材センター事業	1	
	電話回線3回線	公益目的保有財産でありシル バー事業に使用	シルバー人材センター事業	217,600	
	スズキエブリイ1台	公益目的保有財産でありシル バー事業に使用	シルバー人材センター事業	9,210	
固定資産合計				5,592,782	
資産合計				54,708,366	
流動負債					
未払金 預り金	配分金3月分	3月分配分金未払	シルバー人材センター事業	14,295,231	
	守山市環境センター他13件	受託事業材料費未払	シルバー人材センター事業	3,316,124	
	NRI社会情報システム他22件	事業費未払	シルバー人材センター事業 法人管理	2,302,019 168,567	
	理事・専門部会員等	3月分役員報酬・諸謝金・旅費	シルバー人材センター事業 法人管理	50,948 101,988	
	職員法定福利費	3月分社会保険料	シルバー人材センター事業 法人管理	249,429 7,869	
	職員退職給付費用	3月分退職給付費用(総合型DB)	シルバー人材センター事業 法人管理	44,780 1,390	
	職員賃金	3月分超勤賃金未払	シルバー人材センター事業	101,690	
	臨時職員賃金	3月分賃金未払	シルバー人材センター事業	111,200	
	消費税	R4年度確定納付額	シルバー人材センター事業 法人管理	368,939 56,936	
	預り金	所得税	職員からの預り金	シルバー人材センター事業 法人管理	97,730 11,892
		健康保険・厚生年金保険料	3月末退職職員からの預り金	シルバー人材センター事業	38,701
		住民税	職員からの預り金	シルバー人材センター事業	89,700
		雇用保険	職員からの預り金	シルバー人材センター事業	106,127
		企業年金基金	3月末退職職員からの預り金	シルバー人材センター事業	2,600
流動負債合計				21,523,860	
固定負債					
退職給付引当金	定期預金 JAレーク滋賀吉身支店	職員退職金支払いに 備える	シルバー人材センター事業 法人管理	4,451,089 191,454	
固定負債合計				4,642,543	
負債合計				26,166,403	
正味財産				28,541,963	

5 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

減価償却資産について、定額法により実施。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
退職給付引当資産	4,478,185	164,358	0	4,642,543
合計	4,478,185	164,358	0	4,642,543

引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,478,185	164,358	0	0	4,642,543

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	4,642,543	(0)	(0)	(4,642,543)
合計	4,642,543	0	0	(4,642,543)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	776,895	776,894	1
什器備品	2,453,662	1,730,234	723,428
合計	3,230,557	2,507,128	723,429

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高齢者就業機会確保事業費等補助金	連合	0	14,060,000	14,060,000	0	—
運営補助金	市	0	14,060,000	14,060,000	0	—
合計		0	28,120,000	28,120,000	0	

6. その他

液晶一体型パソコン・プリンター・電子複写機・印刷機・電話機・軽貨物車のリース契約により令和4年度末の債務負担合計残高 5,787,008 円

7. 付属明細書

「基本財産及び特定資産の明細」及び「引当金の明細」は本財務諸表の注記において記載している。

監査報告書

令和5年4月24日

公益社団法人 守山市シルバー人材センター
理事長 山中憲造 様

公益社団法人 守山市シルバー人材センター

監事 南井哲
監事 五島長史

私達は、公益社団法人守山市シルバー人材センターの令和4年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳票ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査については、理事から実施事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

2 監査の結果

- (1) 公益社団法人守山市シルバー人材センターの令和4年度の計算書類およびその付属証明書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人守山市シルバー人材センターの正味財産増減の状況および財政状態を適正に表示しているものと認める。
- (2) 公益社団法人守山市シルバー人材センターの令和4年度の事業報告および付属明細書の内容は真実であり、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

議第3号

公益社団法人守山市シルバー人材センター定款の一部変更について

上記の議案を提出する。

令和5年5月25日

公益社団法人守山市シルバー人材センター
理事長 山中憲造

公益社団法人守山市シルバー人材センター定款の一部を次のように変更する。

第11条第3項中、「理事長以外の1名を副理事長とし」を、「理事長以外の2名を副理事長とし」に改める。

附 則

この定款の変更は、令和5年5月25日から施行する。

新旧対照表(公益社団法人守山市シルバー人材センター定款)

現 規 程	新 規 程
<p>第1章総則 (略) 第2章会員 (略) 第3章役員 (種別、定数および選任) 第11条 センターに次の役員を置く。 理事 12名以上15名以内 監事 2名以内 2 理事のうち、1名を理事長とする。 3 理事長以外の1名を副理事長とし、理事長及び副理事長以外の1名を常務理事とすることができる。</p> <p>以下省略</p>	<p>第1章総則 (略) 第2章会員 (略) 第3章役員 (種別、定数および選任) 第11条 センターに次の役員を置く。 理事 12名以上15名以内 監事 2名以内 2 理事のうち、1名を理事長とする。 3 理事長以外の2名を副理事長とし、理事長及び副理事長以外の1名を常務理事とすることができる。</p> <p>以下省略</p>

議第4号

役員を選任について

上記の議案を提出する。

令和5年5月25日

公益社団法人守山市シルバー人材センター
理事長 山中 憲 造

役員を選任(案)について、公益社団法人守山市シルバー人材センター定款第11条第5項の規定に基づき、議決を求める。

役員候補者名簿

順不同

役職名	氏名	住所	備考
理事	三品 恵子	守山市森川原町66-2	重任
〃	田中 照雄	守山市守山3-2-12	重任
〃	奥村 正	守山市欲賀町990-13	重任
〃	東南 善明	守山市水保町1390-50	重任
〃	津田 義孝	守山市服部町496	重任
〃	若林 猛	守山市吉身6-7-43	重任
〃	小田 ゆかり	守山市二町町280-46	重任
〃	北川 佳二	守山市水保町1461-80	新任
〃	小島 治	守山市吉身5丁目11-2	新任
〃	三浦 豊司	守山市赤野井町126-1	新任
〃	岡村 敏誠	守山市播磨田町166-54	新任
〃	上杉 孝	守山市杉江町608	新任
〃	東 初美	守山市播磨田町1272-3	新任
〃	川那辺 孝藏	守山市金森町715	新任
〃	小島 秀晃	守山市梅田町2-1-903	重任
監事	南井 哲	守山市吉身三丁目5-30	重任
〃	三品 長治	守山市赤野井町186	重任

報告第1号 令和4年度補正予算について
 令和4年度 公益社団法人守山市シルバー人材センター収支予算書
 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	当初予算額 (予算額)	補正予算額	予算現額	備考
I一般正味財産増減の部				
1.経営増減の部				
(1)経営収益				
受託事業収益	291,932,465	△ 840,000	291,092,465	
受取配分金	239,000,000	△ 8,200,000	230,800,000	収益の精査
受取材料費等	18,400,000	8,200,000	26,600,000	受取配分金から振替
受取事務費	23,900,000	0	23,900,000	
指定管理料収入	5,841,000	0	5,841,000	
施設利用料収入	4,100,000	△ 200,000	3,900,000	施設利用料収入の精査
あじさいフェア開催収入	641,465	△ 590,000	51,465	あじさいフェア一中止
その他収入	60,000	△ 50,000	0	芦刈園自動販売機撤去による収入減
労働者派遣事業等受託収益	6,480,000	0	6,480,000	
労働者派遣事業等受託収益	6,480,000	0	6,480,000	
高齢者活躍人材育成事業受託収益	0	1,234,180	1,234,180	
高齢者活躍人材育成事業受託収益	0	1,234,180	1,234,180	高齢者活躍人材確保育成事業実施費
受取会費	1,740,200	△ 1,360	1,738,840	
正会員受取会費	1,740,200	△ 1,360	1,738,840	受取会費の精査
受取補助金等	28,120,000	0	28,120,000	
受取連合交付金	14,060,000	0	14,060,000	
受取(市)補助金	14,060,000	0	14,060,000	
受取連合助成金	0	0	0	
受取負担金	3,200	1,990	5,190	
受取負担金	3,200	1,990	5,190	役員賠償責任保険増額
特定資産運用益	5,000	0	5,000	
特定資産受取利息	5,000	0	5,000	
雑収益	13,000	1,360	14,360	
受取利息	3,000	0	3,000	
雑収益	10,000	1,360	11,360	帽子販売等
他会計からの繰入金収益	0	0	0	
公益会計からの繰入金収益	0	0	0	
法人会計からの繰入金収益	0	0	0	
経営収益計	328,293,865	396,170	328,690,035	
(2)経営費用				
事業費	325,161,345	286,606	325,447,951	
支払配分金	245,270,000	△ 5,100,000	240,170,000	あじさいフェア一中止、受取配分金の減少
支払材料費等	19,400,000	4,260,000	23,660,000	支払配分金から振替
役員報酬	361,260	△ 101,000	260,260	会議の減少
給料手当	27,045,534	△ 1,418,000	25,627,534	嘱託職員1名の退職
臨時雇賃金	1,334,400	△ 20,000	1,314,400	臨時雇用賃金の精査
法定福利費	4,380,213	△ 291,047	4,089,166	嘱託職員1名の退職
退職給付費用	2,055,358	△ 495,000	1,560,358	中退共掛金の精査による減
福利厚生費	150,990	△ 41,000	109,990	福利厚生費の精査
会議費	158,000	△ 82,000	76,000	会議の減少
役員等旅費交通費	343,800	△ 275,000	68,800	会議の減少、管理費の役員等旅費交通費へ振替
旅費交通費	48,000	△ 8,100	39,900	会議の減少
通信運搬費	1,528,512	14,000	1,542,512	福利厚生費から振替
減価償却費	0	12,100	12,100	什器備品購入による計上
什器備品費	663,000	2,003,800	2,666,800	給料手当、光熱水料費から振替
消耗品費	1,929,704	48,252	1,977,956	光熱水料費から振替
修繕費	670,000	270,000	940,000	印刷製本費から振替
印刷製本費	1,224,000	△ 320,000	904,000	パンフレット印刷の減
光熱水料費	2,206,814	△ 1,073,999	1,132,815	事務所移転に伴うガス代の減少
賃借料	3,678,866	155,601	3,834,367	光熱水料費から振替
保険料	3,418,956	△ 28,600	3,390,456	保険料の精査、管理費へ振替
諸謝金	725,700	△ 186,300	539,400	会議の減少
租税公課	784,200	345,175	1,129,375	役員等旅費交通費、諸謝金から振替
支払負担金	15,000	△ 5,000	10,000	支払負担金の精査
組織活動助成費	814,000	△ 100,000	714,000	班活動助成金の精査
委託費	6,332,087	2,716,800	9,048,887	人材派遣会社契約
研修費	81,000	21,925	102,925	書籍購入
教材費	0	0	0	
支払手数料	146,971	3,999	150,970	金融機関への支払の増加
貸倒損失	0	0	0	
支払利息	375,000	0	375,000	
雑費	20,000	△ 20,000	0	雑費の未発生
管理費	3,132,520	604,564	3,737,084	
役員報酬	657,000	0	657,000	
給料手当	767,520	2,000	769,520	事業費の給料手当から振替

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
管理費	3,226,020	3,132,520	93,500	法人運営に必要な経費
役員報酬	630,200	557,000	73,200	総会・理事会等役員報酬
給料手当	798,353	767,520	30,833	法人運営に必要な給料手当
法定福利費	132,023	125,083	6,940	法人運営に必要な法定福利費
退職給付費用	37,542	62,502	△ 24,960	法人運営に必要な退職給付費用
福利厚生費	1,810	1,810	△ 0	法人運営に必要な福利厚生費
会議費	28,000	28,000	0	総会・理事会お茶代
役員等旅費交通費	30,740	30,740	0	総会・理事会等費用弁償
旅費交通費	34,900	34,900	0	法人運営に必要な旅費交通費
通信運搬費	71,255	70,557	698	総会・理事会通知切手・電話
消耗品費	37,800	37,296	504	総会・理事会資料用事務用品等
印刷製本費	136,000	136,000	0	総会議案書
光熱水料費	149,481	147,586	1,895	法人運営に必要な光熱水費
賃借料	220,270	218,400	1,870	総会会場借上料・複合機・印刷機
保険料	35,814	35,814	0	役員賠償責任保険
諸謝金	108,900	108,900	0	法人運営に必要な諸謝金
租税公課	55,800	55,800	0	法人運営に必要な租税公課
支払負担金	333,000	333,000	0	全シ協・近シ協・県シ連等年会費
委託費	380,626	378,153	2,473	顧問税理士料等
支払手数料	3,506	3,459	47	証明書発行手数料
経常費用計	330,348,433	328,293,865	2,054,568	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	24,011,928	23,423,280	588,648	
一般正味財産期末残高	24,011,928	23,423,280	588,648	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高	24,011,928	23,423,280	588,648	

令和4年度公益社団法人守山市シルバー人材センター収支予算書（注記）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科目	当初予算額 (予算額)	補正予算額	予算現額	備考
【投資活動収支の部】				
＜投資活動収入＞				
特定資産取崩収入	0	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
＜投資活動支出＞				
固定資産取得支出	0	735,460	735,460	
仕器備品購入支出	0	735,460	735,460	草刈機購入、ワークプラザブラインド更新
特定資産取得支出	967,570	△ 803,212	164,358	
退職給付引当資産取得支出	967,570	△ 803,212	164,358	中退共掛金の確定による精査
減価償却引当資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	967,570	△ 67,752	899,818	
投資活動収支差額	△ 967,570	67,752	△ 899,818	
【財務活動収支の部】				
＜財務活動収入＞				
借入金収入	20,000,000	△ 8,000,000	12,000,000	
短期借入金収入	20,000,000	△ 8,000,000	12,000,000	
財務活動収入計	20,000,000	△ 8,000,000	12,000,000	
＜財務活動支出＞				
借入金返済支出	20,000,000	△ 8,000,000	12,000,000	
短期借入金返済支出	20,000,000	△ 8,000,000	12,000,000	
財務活動支出計	20,000,000	△ 8,000,000	12,000,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 967,570	67,752	△ 899,818	

借入金限度額

短期借入金限度額は20,000,000円とする。

債務負担額

液晶一体型パソコン（7台）、プリンター（2台）の5年間リースにより
 2018（平成30）年度 370,656 円
 2019年度 555,984 円
 2020（令和2）年度 555,984 円
 2021（令和3）年度 555,984 円
 2022（令和4）年度 555,984 円
 2023（令和5）年度 186,326 円
 計 2,779,920 円

軽貨物車（滋賀480さ1735）の4年間再リースにより
 2021（令和3）年度 157,300 円
 2022（令和4）年度 171,600 円
 2023（令和5）年度 171,600 円
 2024（令和6）年度 171,600 円
 2025（令和7）年度 14,300 円
 計 686,400 円

液晶一体型パソコン（1台）の1年間再リースにより
 2022（令和4）年度 10,560 円
 計 10,560 円

軽貨物車（滋賀480さ1736）の4年間再リースにより
 2021（令和3）年度 157,300 円
 2022（令和4）年度 171,600 円
 2023（令和5）年度 171,600 円
 2024（令和6）年度 171,600 円
 2025（令和7）年度 14,300 円
 計 686,400 円

液晶一体型パソコン（1台）の51か月間リースにより
 2019年度 62,964 円
 2020（令和2）年度 68,688 円
 2021（令和3）年度 68,688 円
 2022（令和4）年度 68,688 円
 2023（令和5）年度 22,896 円
 計 291,924 円

軽貨物車（滋賀480才8287）の5年間の再リースにより
 2019年度 32,780 円
 2020（令和2）年度 196,680 円
 2021（令和3）年度 196,680 円
 2022（令和4）年度 196,680 円
 2023（令和5）年度 196,680 円
 2024（令和6）年度 163,900 円
 計 983,400 円

電子複写機（RICOH MP8004SPF）の5年間リースにより
 2018（平成30）年度 225,720 円
 2019年度 246,240 円
 2020（令和2）年度 246,240 円
 2021（令和3）年度 246,240 円
 2022（令和4）年度 246,240 円
 2023（令和5）年度 20,520 円
 計 1,231,200 円

軽貨物車（滋賀480そ6969）の2年間再リースにより
 2022（令和4）年度 168,400 円
 2023（令和5）年度 158,400 円
 計 316,800 円

リソグラフ印刷機（FW6230）の7年間リースにより
 2018（平成30）年度 200,880 円
 2019年度 602,640 円
 2020（令和2）年度 602,640 円
 2021（令和3）年度 602,640 円
 2022（令和4）年度 602,640 円
 2023（令和5）年度 602,640 円
 2024（令和6）年度 602,640 円
 2025（令和7）年度 401,760 円
 計 4,218,480 円

軽貨物車（滋賀480た6376）の5年間リースにより
 2018年度（平成30年度） 251,856 円
 2019年度 274,752 円
 2020（令和2）年度 274,752 円
 2021（令和3）年度 274,752 円
 2022（令和4）年度 274,752 円
 2023（令和5）年度 22,896 円
 計 1,373,760 円

ビジネスフォン（BT-SI/LA主装置他）の6年間リースにより
 2021（令和3）年度 97,680 円
 2022（令和4）年度 293,040 円
 2023（令和5）年度 293,040 円
 2024（令和6）年度 293,040 円
 2025（令和7）年度 293,040 円
 2026（令和8）年度 293,040 円
 2027（令和9）年度 195,360 円
 計 1,758,240 円

軽貨物車（滋賀480た7767）の5年間リースにより
 2018年度（平成30）年 197,316 円
 2019年度 263,088 円
 2020（令和2）年度 263,088 円
 2021（令和3）年度 263,088 円
 2022（令和4）年度 263,088 円
 2023（令和5）年度 66,772 円
 計 1,315,440 円

軽貨物車（滋賀480ち3986）の5年間リースにより
 2019年度 231,984 円
 2020（令和2）年度 231,984 円
 2021（令和3）年度 231,984 円
 2022（令和4）年度 231,984 円
 2023（令和5）年度 231,984 円
 計 1,159,920 円

軽貨物車（新）の6年間リースにより
 2022年度（令和4）年度 242,880 円
 2023年度（令和5）年度 242,880 円
 2024年度（令和6）年度 242,880 円
 2025年度（令和7）年度 242,880 円
 2026年度（令和8）年度 242,880 円
 2027年度（令和9）年度 242,880 円
 計 1,457,280 円

収支予算書を上回って支出する特例

配分金・材料費等収入の増加に連動する支出（配分金、材料費等支出）に限り、予算額を越えて執行することができる。

令和5年度事業計画

1 基本方針

ウイズコロナの下、世界経済は回復傾向にあったものの、欧米においては、高インフレと金融引き締めが続くなか景気後退が懸念されており、中国経済においては、長期におよんだゼロコロナ政策の影響や不動産市場の低迷による一段の落込みが懸念されています。こうした海外経済の減速が、内需を中心に持ち直し傾向にある日本経済に輸出の下振れ要因として影響をもたらすと予測されています。

消費者物価については、欧米ほどの伸び率ではないものの、近年まれにみる勢いで上昇しており、主因は食料・エネルギー価格高騰ではあるものの、円安による企業の調達コストの上昇がとれない幅広い品目に価格上昇が広がっています。

個人消費は、コロナによる行動制限の解除や水際対策の緩和によるインバウンド需要などにより増加が見込まれるものの、物価上昇により家計の購買力は低下しており、消費を抑制する傾向もみられることから購買力の低下が長引けば個人消費の回復も遅れる懸念があります。

このような状況のもと、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化などに引続き貢献しています。

本年度の主な事業計画として、まず業務面においては、令和4年度からスタートした「びわこ地球市民の森緑地管理業務」が2年目を迎え、本年度も個々の課題を解決しながら重点事業として取組みを進めてまいります。同じくエコパークの管理業務においても手刈除草の従事を全地域班に募るなど、現実に即した体制づくりも芽生えており、今後も柔軟に対応できるよう協議を進めていきたいと考えています。

また、本年度は建設中の市庁舎が竣工し、宿直班をはじめ従来の庁舎管理体制が大きく変わります。新規業務をしっかりと把握し、これまでに培ってきた技量と信頼を損なわないよう会員の皆様と対応を進めます。

次に会員数についてですが、これからの展開を図る上でも何よりも会員数の拡大は必要です。業務量に対し会員の高齢化と後継者不足が顕著になっている業務が顕在化しています。魅力ある就業体制づくりとともに互助会解散後の会員同士のコミュニティづくりも含め、ウイズコロナのなか各種教室や講習会等を企画開催しセンターの魅力向上に努めます。

最後に令和5年10月に導入される「適格請求書等保存(インボイス制度)」

については、センターの対応は県連合会の方針に従い進めるところですが、今後においては流動的な情報もあり、対応可能な方策を選択せざる得ないところであり、会員の皆様にも周知してまいります。

本年度においても引続き、地域ニーズを把握する中、計画の着実な推進と就業や奉仕活動を通じて、会員が生きがいをもって、地域福祉と地域の活性化に貢献できるセンターを目指して、次の諸事業を推進してまいります。

2 事業実施計画

(1) 就業機会の拡大

契約金額は、中期計画の改定目標数値である 339,000 千円、未就業者を出さないことを目指し、就業機会の拡大に取り組みます。

- ① 就業先の開拓、拡大【商工会議所との連携】【ポイント対象項目の周知】
- ② 就業ニーズ把握による新規事業開拓【福祉分野の新規開拓】
- ③ 既存事業の強化・充実・拡大【除草作業の人員確保と後継者育成】
- ④ 女性就業機会の拡大
【女性副理事長の登用・女性理事の増員・湖南ブロック交流】
- ⑤ 人的資源のPRと活用
- ⑥ 就業ミスマッチの解消

(2) 会員数の拡大

会員数は、コロナ禍により中期計画の改定目標数値を修正し 720 人を目指し、多様な発注者のニーズに対応できる健康で働く意欲のある会員の入会促進に取り組みます。特に、引続き女性会員数の拡大を重点的に取り組みます。また、会員活動の活性化や退会抑止を目的にポイントカード制度も継続します。

- ① 入会の促進、新規入会者の拡大【会員一人一人の勧誘・自治会連携】
- ② 入会勧誘方法の工夫【出張おしごと説明会・Web 入会周知】
- ③ 退会者の防止【各種教室開催や同好会活動の活性化】
- ④ 女性会員数の拡大【いきいきサロン・各種講習会開催】

(3) 安全就業の徹底

ウイズコロナの働き方を進める中で、日頃から自身の体調管理に努め、作業前後のチェックシートによるチェックを確実に実施し、安全は全てに優先するという基本方針の更なる徹底を図ります。

事故のあった場合に保険適用を辞退される事例がありましたが、事故の件数としては計上しており、適用可能な案件については、手続きを適正に対応してまいります。引続き、より一層の安全対策の徹底に努め事故ゼロを目指します。

- ① 賠償責任事故ゼロ、傷害事故ゼロ、交通事故ゼロ
- ② 安全就業基準、作業別安全就業基準、地域班共同作業実施マニュアルの遵守。チェックシートの活用徹底
- ③ 全ての事故の未然防止
- ④ 危険に対する感受性の高揚【ヒヤリハットの周知・危険予知能力の向上】
- ⑤ 交通事故防止
- ⑥ 健康の保持・増進
- ⑦ 自主管理体制の確立

(4) 普及啓発活動の推進

センター事業の意義を広く市民に周知し、センターの活動を知っていただくため、イメージアップ戦略、「笑顔をとどける」をキーワードとして積極的な普及啓発に取り組みます。また、女性部会では引続きヘチマ栽培を通じて環境負荷の低減を提案していきます。

- ① ホームページの充実【就業情報・会員のページの充実・SNS導入】
- ② 広報誌の充実
【「よろこび」の新聞折込・公共施設への設置拡充、「会員のひろば」の発行】
- ③ 会員投稿の活性化【ポイント付与】
- ④ 作業時に「のぼり旗」の掲揚 使用車両にマグネット啓発シート
- ⑤ 各種イベントでの啓発活動の実施
【イベントグループの設立検討】【啓発ブルゾン・イベントツール整備】
- ⑥ 公共施設等でのパンフレットの配置

(5) 適正就業の推進

シルバー人材センターにおける派遣事業のさらなる拡大が求められる中、平成28年度に厚生労働省が策定した「適正就業ガイドライン」の活用を図り、「適正な受託と就業」に取り組みます。

- ① ワークシェアリング、グループ就業、ローテーション就業の検証
- ② 未就業者を主とする適正就業機会の提供
- ③ 会員の就業状況の把握と公平な就業機会の確保
- ④ 会員の要望把握と周知

(6) 就業能力の向上

会員に必要な専門的知識・技能・技術の習得はもちろん、サービスを提供する事業者の一員であることを認識してもらうため、各種講習会を開催し就業能力の向上に努めます。またコロナ禍において、デジタル社会への変革が急速に進行していることから、デジタル技術を取り入れた事業展開を図る必要があります。

一方、センターの中心的な業務である除草業務においては、高齢化と後継者不足により、今後において現在の受注規模が維持できるか懸念されることから、現在の受注体制の再編成の検討を含め、機械化の導入等検討と対応策を進めます。

- ① 定期的な技能・技術講習会の実施
- ② 適正就業研修の実施
- ③ 技術の向上と知識の取得
- ④ 人材不足の職種に関する講習、研修での人材開発
- ⑤ 後継者の育成と新規機材の導入
- ⑥ 課題の共有と対応

(7) 運営体制の充実・強化

様々なニーズに応じていくため、センター運営機能の一層の充実・強化に取り組みます。特に、事務所の再移転を見据えた人員配置とセンター運営のDX化による効率化・簡素化による事務コストの削減検討ならびに会員のデジタル環境の活用支援を行いセンターの安定的な運営を図ります。

また令和5年10月に導入される「適格請求書等保存（インボイス制度）」については、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となるよう対応を進めます。

最後に地域班運営については、役員業務の軽減や選任のルール化などについて業務部会でしっかり議論を行い、令和6年度実施を目途に取組みを進めます。

- ① 事業運営への女性の参画【女性理事の増員】
- ② 事務局体制の充実・強化【すこやかセンター本部・小津事務所の活用】
- ③ 職員の待遇改善【類似団体との比較による段階的充実】
- ④ 財源の確保【インボイス制度への対応・事務局体制強化】
- ④ 事務所移転に向けたDX化の検討
- ⑤ 会員のデジタル環境の活用支援【スマホ・タブレット等利用促進】

(8) 地域社会への貢献

地域社会との連携を図り、地域社会の福祉と活性化に貢献し、地域から必要とされるセンターを目指して取り組みます。ボランティア要請にも積極的に対応します。

- ① 奉仕活動の展開
- ② 地域ニーズ把握
- ③ 地域社会との連携

報告第3号 令和5年度収支予算について

令和5年度 公益社団法人守山市シルバー人材センター収支予算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	293,972,233	291,932,465	2,039,768	
受取配分金	241,000,000	239,000,000	2,000,000	
受取材料費等	18,700,000	18,400,000	300,000	
受取事務費	24,100,000	23,900,000	200,000	事務費
指定管理料収入	5,841,000	5,841,000	0	ワーケプラザ・芦刈園指定管理料
施設利用料収入	4,100,000	4,100,000	0	芦刈園入園料
あじさいフェア開催収入	181,233	641,465	△ 460,232	芦刈園あじさい花苗等
その他収入	50,000	50,000	0	
労働者派遣事業等受託収益	6,480,000	6,480,000	0	
労働者派遣事業等受託収益	6,480,000	6,480,000	0	労働者派遣事業事務費
受取会費	1,755,000	1,740,200	14,800	
正会員受取会費	1,755,000	1,740,200	14,800	
受取補助金等	28,120,000	28,120,000	0	
受取連合交付金	14,060,000	14,060,000	0	連合会から交付される国庫補助金
受取市(区)町村補助金	14,060,000	14,060,000	0	守山市から交付される補助金
受取負担金	3,200	3,200	0	
受取負担金	3,200	3,200	0	役員賠償責任保険負担分
特定資産運用益	5,000	5,000	0	
特定資産受取利息	5,000	5,000	0	積立金の預金利息
雑収益	13,000	13,000	0	
受取利息	3,000	3,000	0	普通預金の利息
雑収益	10,000	10,000	0	その他の雑収入
経常収益計	330,348,433	328,293,865	2,054,568	
(2) 経常費用				
事業費	327,122,413	325,161,345	1,961,068	
支払配分金	247,270,000	245,270,000	2,000,000	
支払材料費等	19,700,000	19,400,000	300,000	
役員報酬	888,050	361,250	526,800	役員各各会他出席手当
給料手当	25,434,172	27,045,534	△ 1,611,362	給与・諸手当・期末勤勉手当
臨時雇賃金	2,022,000	1,334,400	687,600	臨時職員
法定福利費	4,175,411	4,380,213	△ 204,802	社会保険料等
退職給付費用	1,150,276	2,055,358	△ 905,082	退職給付積立・確定給付企業年金保険料
福利厚生費	133,890	150,990	△ 17,100	職員健康診断等
会議費	158,000	158,000	0	会議等のお茶代
役員等旅費交通費	343,800	343,800	0	各種部会旅費等
旅費交通費	48,000	48,000	0	役員旅費
通信運搬費	1,586,615	1,528,512	58,103	郵便・電話等
什器備品費	1,065,000	663,000	402,000	作業用機械・安全対策用備品等
消耗品費	1,965,200	1,929,704	35,496	月刊シルバー・各種事務用品等
修繕費	670,000	670,000	0	作業用機械用具・車両修繕
印刷製本費	1,224,000	1,224,000	0	啓発パンフレット・書類・伝票等
光熱水料費	2,204,820	2,206,814	△ 1,994	電気・ガス・水道代
賃借料	3,724,985	3,678,856	46,129	OAシステム・コピー・軽トラ等リース料
保険料	3,418,956	3,418,956	0	会員傷害・賠償保険料・車両保険
諸謝金	727,500	725,700	1,800	講師謝金・役員以外の各会他出席手当
租税公課	784,200	784,200	0	印紙税・消費税
支払負担金	15,000	15,000	0	安全運転管理者講習
組織活動助成費	814,000	814,000	0	地域班・職群班運営及び活動助成
委託費	6,969,614	6,332,087	637,527	OAシステム
研修費	81,000	81,000	0	テキスト等
支払手数料	152,924	146,971	5,953	振込手数料等
支払利息	375,000	375,000	0	借入金利息
雑費	20,000	20,000	0	手土産等

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
管理費	3,226,020	3,132,520	93,500	法人運営に必要な経費
役員報酬	630,200	557,000	73,200	総会・理事会等役員報酬
給料手当	798,353	767,520	30,833	法人運営に必要な給料手当
法定福利費	132,023	125,083	6,940	法人運営に必要な法定福利費
退職給付費用	37,542	62,502	△ 24,960	法人運営に必要な退職給付費用
福利厚生費	1,810	1,810	△ 0	法人運営に必要な福利厚生費
会議費	28,000	28,000	0	総会・理事会お茶代
役員等旅費交通費	30,740	30,740	0	総会・理事会等費用弁償
旅費交通費	34,900	34,900	0	法人運営に必要な旅費交通費
通信運搬費	71,255	70,557	698	総会・理事会通知切手・電話
消耗品費	37,800	37,296	504	総会・理事会資料用事務用品等
印刷製本費	136,000	136,000	0	総会議案書
光熱水料費	149,481	147,586	1,895	法人運営に必要な光熱水費
賃借料	220,270	218,400	1,870	総会会場借上料・複合機・印刷機
保険料	35,814	35,814	0	役員賠償責任保険
諸謝金	108,900	108,900	0	法人運営に必要な諸謝金
租税公課	55,800	55,800	0	法人運営に必要な租税公課
支払負担金	333,000	333,000	0	全シ協・近シ協・県シ連等年会費
委託費	380,626	378,153	2,473	顧問税理士料等
支払手数料	3,506	3,459	47	証明書発行手数料
経常費用計	330,348,433	328,293,865	2,054,568	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高	24,011,928	23,423,280	588,648	
一般正味財産期末残高	24,011,928	23,423,280	588,648	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	24,011,928	23,423,280	588,648	

令和5年度収支予算書に係る注記

(単位：円)

1. 投資活動及び財務活動に関する見込

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
【投資活動収支の部】				
(投資活動収入)				
特定資産取崩収入	0	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	
財政運営資金資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
(投資活動支出)				
固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品購入支出	0	0	0	
特定資産取得支出	0	1,300,886	△ 1,300,886	退職金積立
退職給付引当資産取得支出	0	1,300,886	△ 1,300,886	
減価償却引当資産取得支出	0	0	0	
財政運営資金資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	1,300,886	△ 1,300,886	
【財務活動収支の部】				
(財務活動収入)				
借入金収入	20,000,000	10,000,000	10,000,000	
短期借入金収入	20,000,000	10,000,000	10,000,000	
財務活動収入計	20,000,000	10,000,000	10,000,000	
(財務活動支出)				
借入金返済支出	20,000,000	10,000,000	10,000,000	
短期借入金返済支出	20,000,000	10,000,000	10,000,000	
財務活動支出計	20,000,000	10,000,000	10,000,000	

2. 借入金限度額

短期借入金限度額は20,000,000円とする。

3. 債務負担額

液晶一体型パソコン(7台)、プリンター(2台)の5年間リースにより

2018(平成30)年度	370,656円
2019年度	555,984円
2020(令和2)年度	555,984円
2021(令和3)年度	555,984円
2022(令和4)年度	555,984円
2023(令和5)年度	185,328円
計	2,779,920円

軽貨物車(滋賀480さ1735)の4年間再リースにより

2021(令和3)年度	157,300円
2022(令和4)年度	171,600円
2023(令和5)年度	171,600円
2024(令和6)年度	171,600円
2025(令和7)年度	14,300円
計	686,400円

液晶一体型パソコン(1台)の1年間再リースにより

2023(令和5)年度	10,560円
計	10,560円

軽貨物車(滋賀480さ1736)の4年間再リースにより

2021(令和3)年度	157,300円
2022(令和4)年度	171,600円
2023(令和5)年度	171,600円
2024(令和6)年度	171,600円
2025(令和7)年度	14,300円
計	686,400円

液晶一体型パソコン(1台)の5か月間リースにより

2019年度	62,964円
2020(令和2)年度	68,688円
2021(令和3)年度	68,688円
2022(令和4)年度	68,688円
2023(令和5)年度	22,896円
計	291,924円

軽貨物車(滋賀480す8287)の5年間の再リースにより

2019年度	32,780円
2020(令和2)年度	196,680円
2021(令和3)年度	196,680円
2022(令和4)年度	196,680円
2023(令和5)年度	196,680円
2024(令和6)年度	153,900円
計	983,400円

電子複写機(RICOH MP3004SPF)の5年間リースにより

2018(平成30)年度	226,720円
2019年度	246,240円
2020(令和2)年度	246,240円
2021(令和3)年度	246,240円
2022(令和4)年度	246,240円
2023(令和5)年度	20,620円
計	1,231,200円

軽貨物車(滋賀480そ6969)の2年間再リースにより

2022(令和4)年度	158,400円
2023(令和5)年度	158,400円
計	316,800円

リソグラフ印刷機(FW5230)の7年間リースにより

2018(平成30)年度	200,880円
2019年度	602,640円
2020(令和2)年度	602,640円
2021(令和3)年度	602,640円
2022(令和4)年度	602,640円
2023(令和5)年度	602,640円
2024(令和6)年度	602,640円
2025(令和7)年度	401,760円
計	4,218,480円

軽貨物車(滋賀480た6376)の5年間リースにより

2018年度(平成30年度)	251,866円
2019年度	274,752円
2020(令和2)年度	274,752円
2021(令和3)年度	274,752円
2022(令和4)年度	274,752円
2023(令和5)年度	22,896円
計	1,373,760円

ビジネスフォン(ET-SI/LA主装置他)の6年間リースにより

2021(令和3)年度	87,680円
2022(令和4)年度	293,040円
2023(令和5)年度	293,040円
2024(令和6)年度	293,040円
2025(令和7)年度	293,040円
2026(令和8)年度	293,040円
2027(令和9)年度	195,360円
計	1,758,240円

軽貨物車(滋賀480た7767)の5年間リースにより

2018年度(平成30)年度	197,316円
2019年度	263,088円
2020(令和2)年度	263,088円
2021(令和3)年度	263,088円
2022(令和4)年度	263,088円
2023(令和5)年度	65,772円
計	1,315,440円

軽貨物車(滋賀480ち3966)の5年間リースにより

2019年度	231,984円
2020(令和2)年度	231,984円
2021(令和3)年度	231,984円
2022(令和4)年度	231,984円
2023(令和5)年度	231,984円
計	1,168,920円

軽貨物車(新)の6年間リースにより

2022年度(令和4)年度	242,880円
2023年度(令和5)年度	242,880円
2024年度(令和6)年度	242,880円
2025年度(令和7)年度	242,880円
2026年度(令和8)年度	242,880円
2027年度(令和9)年度	242,880円
計	1,457,280円

4. 収支予算書を上回って支出する特例

配分金・材料費等収入の増加に連動する支出(配分金、材料費等支出)に限り、予算額を越えて執行することができる。

報告第4号 令和5年度における主な制度改正等について

1 公益社団法人守山市シルバー人材センターの事務費額について

公益社団法人守山市シルバー人材センター事務費規程第3条に規定していません事務費の額につきましては、公共発注分については、令和4年度に市へ要望書提出し令和5年度からのインボイス導入を踏まえた調整額を上乗せした総額見積を行いました。一方、民間企業・個人発注分については、令和6年度の当初の設定を目指し、対応方針について発注者および会員の皆様と協議を行ないます。

2 事務所移転について

守山市新庁舎については、本年8月中旬の新庁舎への移転予定で整備が進んでおり、すこやかセンターからも新庁舎への移転が行われます。

当センターの事務所については、新庁舎へ市職員移転後に改修工事が実施された段階で、すこやかセンターへ移転を行います。しかし、すこやかセンターにおいてはスペースが限られており、営繕の作業場や倉庫については、引続き小津の現事務所を活用することになりました。

小津の現事務所については、新たな活用スペースも生じることから、女性部会を中心に検討を進めているところです。

移転時期につきましては、令和7年度初めになる予定で、すこやかセンターへの事務所移転後に現事務所の改修が実施される予定です。

令和5年度 被表彰者一覧

◎ 表彰要綱 第2条(1) 該当者

理事として、通算6年以上在職し、事業運営に貢献のあった方

剪定班 中井 藏

副班長として、通算8年以上在職し、会員の結束や会員指導など事業運営に貢献のあった方

守山班 浦林 肇

副班長等として、通算8年以上在職し、会員の結束や会員指導など事業運営に貢献のあった方

玉津班 南出 増夫

◎ 表彰要綱 第2条(2) 該当者

会員として15年以上在籍し、就業実績があり、かつ業務に精励して事業活動に貢献のあった方

守山班 小嶋 清

守山班 三浦 民子

守山班 上野 隆三

守山班 竹村 賢一郎

吉身班 古里 義晴

小津班 小林 重信

小津班 奥村 道弘

玉津班 北出 清一

速野班 宮部 光治郎

安全宣言

公益社団法人守山市シルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」という基本方針に基づき、組織一丸となって、事故ゼロを目指し、安全就業に努めることを、ここに、宣言します。

- 1 危険または有害な作業を内容とする業務は行いません。
- 1 事故の防止のために必要な知識・技能の情報を共有・活用します。
- 1 事故の情報を共有・分析し、再発防止を徹底します。
- 1 会員は、自ら日常の健康管理に十分留意し、健康の増進に努めます。
- 1 会員は、就業開始にあたっては、自ら安全に作業するための確認を行います。
- 1 会員一人ひとりが、シルバー人材センターを代表していることを自覚し、責任ある行動をとります。

公益社団法人守山市シルバー人材センター